



コスモス

遠か月

おんが
議会だより

9月定例会

平成22年度 決算	2
決算特別委員会	4
条例・補正予算	6
委員会レポート	9
一般質問	10
全国交流レガッタ出場	16

2011
vol.122
11月号



男性料理教室

財源確保を！

9月

定例会

9月定例会は、5日から21日まで17日間開催された。

議案は、平成22年度一般会計ならびに10特別会計の決算、条例の一部改正、平成23年度一般・特別会計補正予算など26件が上程され、慎重審議を行った。

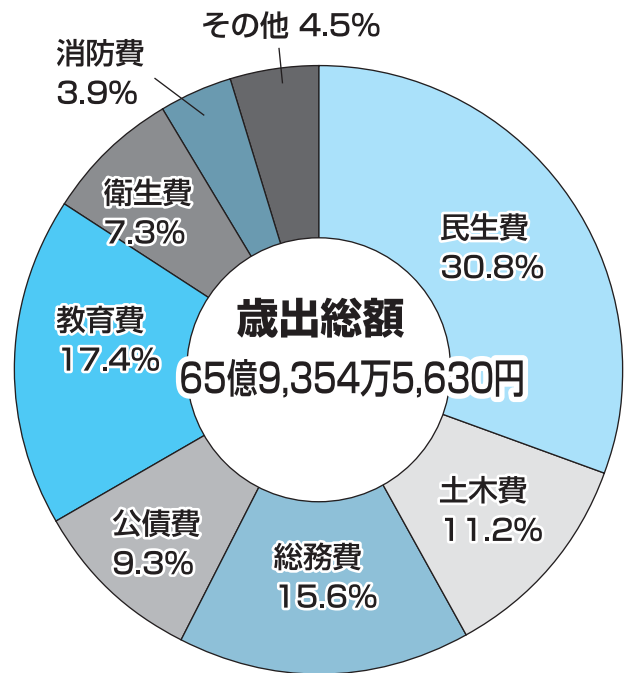
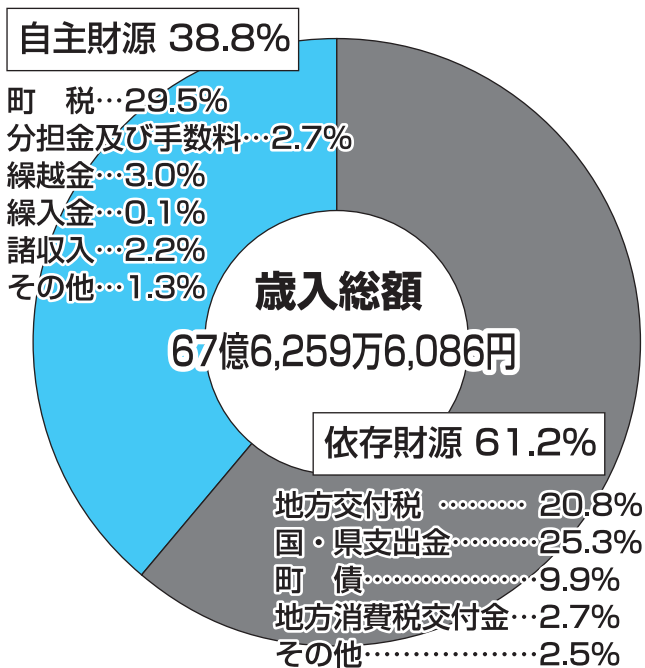
平成22年度の一般会計決算内容は、歳出総額65億9,354万5,630円で、前年度比17.6%の増である。予算規模が前年度より増大した主な要因は、遠賀町中央公民館改修工事、また子ども手当制度の新設によるものである。

町の主な財源は、町税などの自主財源と、国・県からの支出金や地方交付税などの依存財源によるものだが、自主財源が38.8%と50%を大きく下回る結果となった。

特別会計においては、保険給付費と共同事業拠出金が増となり、今後も高齢化や、医療の高度化などの要因により、医療費の増加が懸念される。

これからも、さらに医療費の低減に努める必要がある。

平成22年度 一般会計歳入歳出決算



◆増加の主なもの

- ・国庫支出金（まちづくり交付金や国の経済対策に伴う交付金と子ども手当制度の新設によるもの）
- ・町債（発行可能額の増と繰越事業によるもの）

◆減少の主なもの

- ・繰入金（退職準備基金繰入金の減によるもの）

◆増加の主なもの

- ・教育費（遠賀町中央公民館改修工事と小学校耐震改修工事による増）
- ・民生費（子ども手当制度の新設による増）

◆減少の主なもの

- ・総務費（退職者数減少による減）

※詳細な町財政状況については、遠賀町ホームページ（<http://www.town.onga.lg.jp>）をご覧ください。

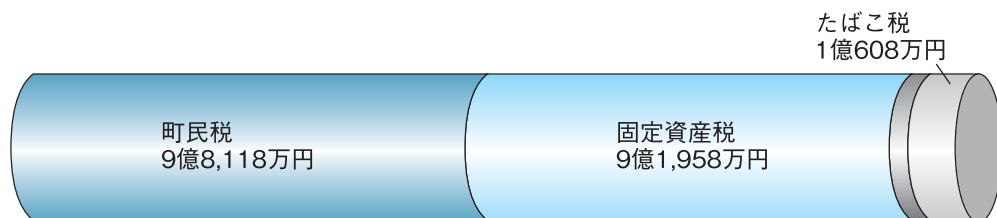
自主財源 40%切る！ 効果的な行財政運営による

平成22年度 各会計歳入歳出決算一覧

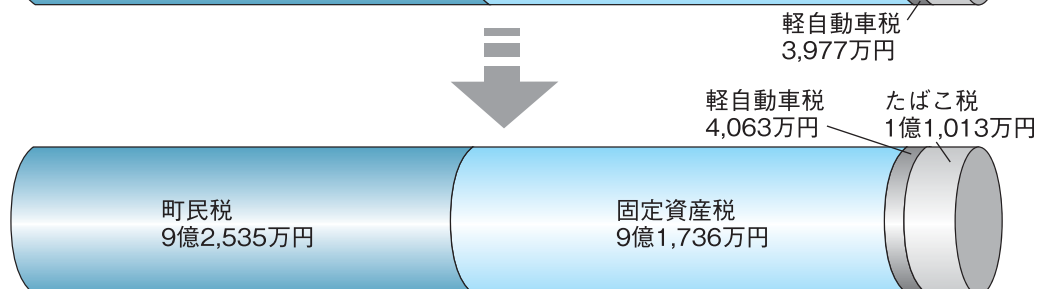
会計名		歳入	歳出	差引残額
一般会計		67億6,260万円	65億9,355万円	1億6,905万円
特別会計	国民健康保険事業	21億3,844万円	21億1,511万円	2,333万円
	住宅新築資金等貸付事業	1,833万円	1,751万円	82万円
	遠賀霊園事業	5,610万円	5,297万円	313万円
	学校給食事業	1億3,663万円	1億3,652万円	11万円
	老人保健	138万円	138万円	0万円
	地域下水道事業	1億2,351万円	1億1,935万円	416万円
	農業集落排水事業	8,607万円	8,434万円	173万円
	公共下水道事業	5億4,754万円	5億3,798万円	956万円
	土地取得	21万円	21万円	0万円
	後期高齢者医療	2億3,633万円	2億2,914万円	719万円

町税の税目別収入状況の推移

平成21年度
収入総額
20億4,661万5,364円



平成22年度
収入総額
19億9,346万6,259円



監査委員指摘事項

普通会計の決算状況を見ると、実質単年度収支は4525万円の黒字であり、歳入が前年度比14.1%増、歳出が15.2%増となっており、決算規模は拡大している。

また、平成22年度末の地方債現在高は、58億2883万円(前年度比2.6%増)となっている。

今後も地方交付税をはじめとする依存財源は不安定であり、景気低迷による税収の減少や高齢化による医療費の増大により、財政状況が厳しくなることも予想される。

したがって、町税や各種使用料などの収納率の向上をはじめとした歳入の確保と、効率的で長期的に安定した財政運営を期待する。

決算特別委員会報告

委員長報告

平成22年度一般会務遂行に対し、適正計および10特別会計かつ効果的に執行された歳入歳出決算について、9月9日から14日まで、各担当課から主要施策の成果「補助金の効果は上説明書である「事業実績報告書」を中心に概要聴取を行い、予算がどのようにな取り組みなどを指に反映されたかを審査しました。

決算特別委員会

委員長

平見 光司

副委員長

仲野新三郎

委員

萩本 悦子

織田 隆徳

加藤陽一郎

堅田 繁



歳入のポイントとしては「経済状況が低迷する中で、町税・補助金・その他収入の確保の努力が十分になされ、その実績が上がっているか」を審査しました。

歳出のポイントとしては「目的とする事

決算特別委員会における指摘事項

次の指摘事項については、執行部で検討し、次年度で報告されます。

指摘1

マイクロボスの運転手について、健康診断結果の提出を義務付けるなど、健康状態を把握しておくべきであり、また、運転前にはアルコール検知器による検査を行うなど、事故防止に努めるべき。

指摘2

街灯の明かりにより、稲穂が出ないなど農作物に被害が出ている。今後、被害の出ないLED照明へ取り換えるなどの対策をとるべき。



収穫直前の稲

指摘3

全体的に公共施設が老朽化しており、学校の大規模改修をはじめ、公共施設全般の改修計画を立て、事業実施計画や、第5次総合計画の前期基本計画にも記載して、実行すべき。

指摘4

地区公民館は、子どもから高齢者まで多くの地域住民が利用される施設であるため、AEDの設置を検討すべき。

指摘5

保育所の入所者数については、特に0歳児が増加しており、待機児童が出ないよう早めに対策を講ずるべき。



0歳児が増加傾向の保育所

指摘6

教育相談業務について、相談員に任せきりにすることなく、教育委員会も内容を把握すべき。

指摘7

コミュニティバスについては、現状では町を南北に移動する際に、駅での乗り換えが必要だが、南北直通路線の運行や西鉄バスと同じルートも走行させるなど、市民の利便性を考えた見直しを検討すべき。



コミュニティバス

平成21年度
決算指摘事項処理改善報告

指摘 広渡排水機ポンプの修繕、
住民の避難経路対策

改善 本年5月末までにすべてのポンプのオーバーホールが完了した。しかし、この施設は、昭和42年に設置されたもののため、県に対して排水機の更新に向けての要望を粘り強く行っていく。

また、住民の避難に対しては、現在、要援護者支援台帳の整備に取り組んでいる。また、高台マップを作成し、これをもとに年度内に全町的な避難訓練の実施を予定している。

指摘 特定健診率の向上に向けての対策

改善 わかりやすい健診案内の作成に努め、また若年層の受診向上対策として40歳の方の訪問勧奨を行った。さらに健診内容については、検診項目の追加や心電図、眼底検査の希望受診などの充実を図った。

指摘 霊園管理料の収納強化対策

改善 滞納者の所在調査については、盆や彼岸を中心に墓所に連絡表を作成し、住所不明者の追跡調査を行っている。

指摘 予算流用についての対応

改善 平成23年度の予算編成にあたっては、事務事業評価による事前査定を行い、的確な予算編成に努めてきた。また、予算流用の決裁についても理由を明確にすることは当然だが、予算流用によるその後の影響などについても記載を義務付け、厳しく審査している。

指摘 おながレガッタの振興対策

改善 「レガッタ教室」を開催し、参加チームの練習時にも経験者を配置し、指導を行った。また、今回から町の特産品販売コーナーを設置するなど新しい試みを行った。

A 来年度は予算を確保し、しっかりと維持補修に努めたい。

Q 地区からの道路補修などの要望は、緊急のあるものばかりだ。優先的に予算をつけるべきでは？

A 調査を行った上で、スピーカーの向きを変えたり、増設などの計画を立てて行きたい。



防災行政無線

Q 防災行政無線の音が割れて聞こえが悪い。この対策は？

A 平成22年度は岡垣町の2人の児童・生徒が利用している。方向性としては、利用者が少ないのであれば、広域での適応

Q 郡内の不登校の児童・生徒を対象とした広域適応指導教室の状況と今後の方針は？

A 週2回の環境パトロール、不法投棄禁止看板の設置を行っている。警察にも届出を行っている。



不法投棄禁止看板

こんな質問もありました

Q 不法投棄は、違法行為である。どのように対処しているのか？

A ICチップの導入も検討したが、チップの費用、システム改修費を併せると約1200万円の予算が必要だ。費用対効果はあまりないと考える。今後も貼り紙などで注意を促していきたい。

Q 町立図書館の不明本対策は？



町立図書館

教室を廃止して各町単独で対応することも検討していきたい。

平成23年度
一般会計補正予算
3581万8000円
増額

■ 主なもの

子育て支援応援基金事業費

136万8000円

乳幼児家庭訪問用公用車と、体重計を購入するもの。

土木費

17万9000円

松の本・上別府線跨線橋整備に伴うサイン表示板を移設するもの。

遠賀中学校改修工事実施設計業務委託費

265万円

中学校第一体育館の屋根防水や校舎外壁の改修のため、調査設計を行うもの。



校舎外壁

コミュニティセンター改修調査委託費

199万5000円

老朽化による改修個所の調査を行うもの。



劣化個所の一部

消防費(高台マップ作成など)

600万1000円

行政区単位での自主防災組織の設立を図り、自主防災組織への消防情報の伝達の強化や災害時の要援護者の避難体制を構築するための、高台マップの作成や、避難時、使用する消耗品や備品を購入するもの。

地区公民館施設補助金

113万1000円

田園地区公民館の白アリ被害による補修工事などを行うもの。



白アリ被害

カーボン艇の購入費

304万5000円

今後の漕艇競技の普及促進を図るため、現在の木製の物から計画的にカーボン艇へ買い替えるもの。



カーボン艇

住民基本台帳システム整備

1362万9000円

外国人住民にも住民基本台帳を適用させるためのシステム整備を行うもの。

特別会計補正予算

国民健康保険事業

587万9000円

保険給付費の増などによるもの。

農業集落排水事業

800万円

取り付け管設置工事の増によるもの。

条例改正

議会提案の議案

災害弔慰金の支給等に関する条例の

一部改正

(全員一致可決)

―同居などの兄弟姉妹も支給対象―

東日本大震災により災害弔慰金に関する法律の改正に伴い、「配偶者、子、父母、孫又は祖父母のいずれもが存在しない場合、同居し、又は生計を同じくしていた兄弟姉妹に対して災害弔慰金を支給することができるように」改正するもの。(3月11日以降の災害より適用)

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

(全員一致可決)

―体育指導委員をスポーツ推進委員に変更―

スポーツ基本法の改正に伴い、「体育指導委員をスポーツ推進委員」に名称を変更するもの。



スポーツ推進委員による指導風景

議会の議決すべき事件に関する条例

の一部改正

(全員一致可決)

―町の基本構想を追加―

地方自治法の改正に伴い、これまで議会の議決事項であった「町における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想に関すること。」が削除された。

議会の議決事項として、町づくりの基本構想を議会で審議しなくてよいのか。議員の責務として将来の町づくりを執行部と一緒に実現していく必要があるとの考えから、議会の議決事項に追加するもの。



遠賀町全景

町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

(全員一致可決)

―報酬を日割計算に変更―

議員の報酬は月割計算であり、月の途中で就任または退任しても、その月の報酬は全額支給されていたが、今回、在任した日割で支給するように改正するもの。



本会議の審議風景

議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正

(全員一致可決)

―議員の死亡も返還対象に―

政務調査費は、年度当初に一括して支給されているが、返還要件に議員の死亡時の規定がなかったため、今回条例に明記するもの。

意見書

原子力発電依存を改め、計画的な再生可能エネルギーへの転換を求める

(全員一致可決・関係機関に送付)

福島第一原子力発電所の事故は、原発の危険性を国民の前に明らかにした。

しかも、ひとたび事故により放射性物質が放出されれば、被害は深刻かつ広範囲に将来にわたって、地域の住民のみならず、全国的に悪影響を及ぼすことになった。

日本における原子力発電所で、重大事故は起こらないという「安全神話」が崩壊した今こそ、原発依存を改め、原子力に代わる再生可能なエネルギーへの転換に向け、期限を定めてプログラムをつくること、併せて再生可能な自然エネルギーの開発と普及促進に全力をあげることを強く要望する。



再生可能エネルギーの一例(風力発電)

7月臨時会

契約

遠賀川駅自由通路線桁・橋脚製作工事請負契約の締結

(全員一致可決)

遠賀川駅の南北をつなぐ通路の桁・橋脚製作工事の請負契約を締結するもの。

▽落札業者 川田建設株式会社(9社で入札)
▽契約金額 1億766万9100円



自由通路完成予想図(駅南側)

補正予算

一般会計補正予算(第3号)

(全員一致可決)

職員1名の中途退職に伴い、退職手当金723万9000円を計上するもの。



～武道場の補修～

6月議会での補正予算に計上されていた武道場床の改修工事が完了しました。

武道場は築30年以上が経過し、老朽化が激しく特に床は、ところどころに穴があき危険な状態でした。そのため畳を移動して穴を隠したり、利用者がタオルを詰めビニールテープを貼って使用していました。

今回、工事費298万7250円をかけ新しい床を貼り、安全な環境が整備されました。



着工前



工事中



竣工

委員会レポート

第一常任委員会

7月8日(金)・11日(月)

学校との意見交換



町内の小・中学校ならびに給食センター、遠賀中央幼稚園を訪問しました。

それぞれが、特色のある重点目標を掲げて運営に取り組んでいました。

施設の老朽化



その中には、学力の向上、豊かな心の育成のほか、幼稚園・保育園から中学校までの幅広い交流を行ったり、家庭・地域社会との緊密な連携を強化することによって教育効果の一層の拡充を図ってまいりました。各学校が共通

して苦慮していたものに、熱中症を含む暑さ対策がありました。扇風機やクーラーなど環境の変化に応じた対応策が必要であると考えました。

また、学校図書館については、古い蔵書の買い替えが望まれていました。

そのほか、学校施設の老朽化や雨漏りなどの問題があり、予算のかかることですが、計画的な改修の必要性を感じました。

第二常任委員会

7月21日(木)

駅南道路整備の状況を視察しました。現在、老良・上別府線と駅南線については、地盤が弱いため、道路に盛土をし、圧密沈下を促進させている状況です。

自由通路については、本体および階段部分の基礎工事が完了し、今後、JR(九州旅客鉄道)との基本協定により、平成24年度までに工事を進めていきます。



自由通路の基礎工事

鳥取県の北栄町と大山町^{だいま}に視察に行ってきました。

北栄町は、昨年度に全国町村議会議長会全国広報コンクールで最優秀賞を受賞し、また名探偵コナンの町として有名な町です。また、大山町も鳥取県のコンクールで、最優秀賞を受賞しています。

両町の広報誌を見て感じたことは、ページ数の多さ(24ページ)や写真が豊富なこと、インパクトのある見出しなど、私たちには広報誌というより雑誌といった斬新^{ざんしん}なものでした。

いきなり両町の誌面に到達することは難しいこととしても、どういことが議会で審議されたのか、審議の過程をしっかりと皆さんお伝えすべきだと考えました。



大山町視察

広報調査特別委員会

8月2日(火)・3日(水)



本町発注の建設工事で、
請負契約について尋ねる



はまおか みねさと
浜岡 峯達 議員



平成21年度工事成績評価要綱
に基づき、請負業者の品質の
確保に努めている



下水道工事における
開削工法の状況

町外業者の
事態調査は

議員 町外業者が町内で営業所を開設しているが、実態調査はどのように行われているか

町長 町内に本社を置いて営業活動を行っている企業、建設業許可を受けている支店について、最低年に一回、現地調査を実施している。

議員 本町の実態に合わせて抜き打ち調査をやってはどうか。

町長 抜き打ち検査は必要で、是非、やりたいたと思っっている。

推進工法による町内
業者の参入状況は

議員 過去5年間の推進工法による下水道工事の受注実績を見ると町内業者は12.5%しか受注していない、このことについて説明を求め

る。

町長 過去5年の実績をみて平成19年に参入を多くするための改定をして、今の基準を設けた。

議員 技術的には難しいと思われるが、17年から19年にかけて、毎年一件受注しているのに、20年以降全く受注できていない理由は何か。

町長 町内に本店を置いている業者だけで入札をすれば、一番いいと思っっている。

しかし、事業が減っている中で、地場で本店を置いている業者をできるだけ入れたいと努力をしている。

議員 町内業者の契約実績がゼロの状態が続いていくということは、技術力そのものが本町からなくなるということなのでそれでよいのか。

町長 推進工法について本町に本店を置く業者の技術力がないといっているわけでもないのに、誤解をされないように。

建設業における
町内業者の育成は

議員 今後どのような形で町内業者の健全育成を図っていくのか。

町長 技術力を求めながら安全で精巧な工事をやっていただき、公平な機会を与えるよう努力する。

議員 私の調査で隣町では、500万円以上から1000万円未満、500万円未満については町外業者の参入を認めないとあり参考にしたい。

副町長 工事が少ないので、8社以上であれば12社または14社入れたりと努力している。



はぎもと えつこ 萩本悦子 議員



子宮頸がんワクチンの 全額補助は継続すべきだ



当然やらなければならない 事業だと考える 前向きに協議していく



子宮頸がんワクチンの接種は、
済んだかな

子宮頸がんワクチン 全額補助事業

議員 本年度は、中学1年生から高校1年生までの女子を対象に、子宮頸がんワクチンの全額補助を行っているが、来年度も当然、継続されると考えてよいか。

町長 この事業は国の補助事業で、平成23年度で打ち切られる事業だが、継続しなければならぬ事業と考える。しかし、郡内や近隣自治体では、まだ協議が出されていない。このワクチンと検診とで子宮頸がんが予防できる訳だから、継続すべきものと考えて、国に要望していく。

議員 来年度は、中学1年生の女子のみの対象でいい訳だ。予算として約350万円が必要だが、将来、

がんになった時の医療費や失われる労働力を考えた時、この予防にかかるコストの方が小さいと考える。

一部補助という考えもあるが、私は、子どもたちの将来の健康が家庭の経済状況に左右されるべきではないと考える。国の補助がなくても町単独の全額補助事業とすべきだ。

町長 本年度、この事業を実施すると決めた時から、継続することも視野にいれている。この場で即答できないが、前向きに協議していく。

武道場の今後の方針

議員 武道場は、築30年以上が経過し、老朽化が懸念される。ここ数年だけでも建物本体の修繕・補修費は約530万円かかっている。

議員 方向性を早く決めて、それに向かって集中的に考えるべきだ。

今後の考えは、**教育長** 武道場については、柔道・剣道・空手を中心に、年間約1万人の利用者がある。今後の武道場としては①現在の武道場を補修しながら使う②遠賀南中学校の武道場に変更し並行して使う③新たに建て替える…の3つの方法が考えられるが、現行の施設がいつまで使えるのか、利用者他に施設の利用を納得していただけるのか、また、新たに建て替える場合、財源はどうするのかなど、いずれも高いハードルの課題がある。

今後は、利用者を含めた住民の意見を聞きながら検討委員会の設置も視野にいれて検討していきたい。



学童保育クラブの運営に
指定管理者はなじまない



かた だ しげる
堅田 繁 議員



これまでどおり運営委員会に
委託する方向だ



学童まつりにおける
浅木ソーラン

公共施設の運営見直しは慎重に行うべきだ

議員 昭和52年建設の学校給食センターが老朽化している。芦屋町との共同運営の話は進んでいるのか。

町長 町有地を有効活用したいが、芦屋町も給食事業を展開しながら、新しい施設を建設したい考えのようだ。担当者レベルで建設場所の選定協議がまとまっていない。方向性が定まったらお知らせする。

議員 遠賀総合運動公園（遠賀コミュニティセンター）の管理は、指定管理者に任せるのか。

教育長 その方向でと考えるが、『利用者の皆さんの意見を反映すること、老朽化した施設を改修するほうが先決では』などの意見もある。

り、時期尚早と判断した。よって、平成24年度

に第3者委員会を設置して検討するが、指定管理者制度の導入は慎重に行っている。

これからの学童保育の運営は

議員 町内3つの学童保育クラブは、これまでどおり公設民営を堅持し、各運営委員会に委託をするべきだ。

町長 今のところ、何ら支障が起こっていない。その方向でいきたい。

議員 留守家庭の児童を放課後、単に保育する、預かるというだけでなく、公的責任で安全に健やかに成長できる環境を整備するべきだ。学童保育クラブの運営を指定管理者（民間企業）に任せることはなじまない。

買い物困難者を救済する政策は何かがあるか

議員 現在、運転免許証を持つている高齢者の方々も、いずればそれを返納するときがくる。買い物手段に不自由を抱えている方々をどうやって救済する考えか。

町長 まず、『身近な場所に商店を造ること』『家や地域の拠点に商品を届けること』『公共交通を充実させて、買い物アクセスを広げる』など考えるが、今後、高齢化や人口減少が進むため、早期に何らかの手を打つ必要性は認識している。

※そのほか、住宅耐震リフォーム助成制度を導入する考えはないか質問しました。



はぎ お おさ み
萩尾 修身 議員



受取る側を考えた優しい
丁寧な情報発信を目指すべき



情報については、行政としての
説明責任の中でしっかり
やっていきたい



遠賀町立図書館の
太陽光発電設備

小学校に太陽光発電設備を

議員 脱原発の一環としての再生可能エネルギーの太陽光について町の現状と考え方は。

町長 公共施設は遠賀町立図書館のみ、個人住宅は198件。住宅用太陽光発電設置補助金制度は、来年度も継続していく事業とすることで認識している。

議員 小学校に太陽光発電設備を設置して、熱中症対策の一環としてクーラーの入った教室を少しでも増やす考えはないか。

教育長 現在のところは考えていない。これから研究していきたい。

個人情報と地域社会の絆

議員 個人情報保護法に対する住民の過剰反

応で、地域の絆が壊れかけている。町としても対処すべきではないか。

町長 個人情報は、正確・最新に保つなどの基本ルールを厳守し、取り扱いに気を付けている。町としては、正しい情報を条例に基づいて出している。

議員 現在、プライバシーの侵害という言葉で、地域社会の構築が壊れかけている。行政は、住民の皆さんにわかりやすい丁寧な情報発信をすべきだ。

また、本当に納得してもらっているかを検証することも必要では。
町長 住民の皆さんにあらゆる情報を発信することにについては、行政としての説明責任の中で、しっかりやっていきたい。

議員 住民の方の疑問や戸惑い、そして過剰

反応は、区長さん以下地域のお世話する方々と町がもっと密に連携していくことで、ある程度防げるのではないか。

町長 コミュニケーションはその通りだ。行政区においても区長さん以下役員さんにもしっかりと地域の中で住民の方とコミュニケーションをとっていただくようお願いする次第だ。

議員 災害時にでもなれば、人と人との絆が非常に大切なものとなる。行政は、地域社会の構築や絆の大切さを率先して、住民の皆さんに呼びかけていきたい。





被災者支援システムを 導入すべきだ



なかの よしのり
中野 嘉徳 議員



今後、導入を前提に検討して
いきたい



高瀬・野中線冠水の様子

現在、本町の児童・生徒の防災教育は

議員 防災教育は、どのような内容で進めているか。

教育長 学校が被災した場合のこれまでの学校における防災教育というものは、本町では一般には安全教育と称する中で、主に火災、風水害、それから津波を除いた地震対策である。小・中学校において、学期ごと災害テーマを中心に防災教育を実施している。

議員 今後の見直しはあるか。

町長 今後、小・中学校から要請があれば学校に出向き、児童・生徒に合わせた内容での出前講座や被災地に派遣した職員の報告会を積極的に行っていく。

教育長 想定外であった津波時の避難マニュアルの作成や訓練、防災対策を実施していく。

今後の地域防災教育は

議員 地域住民への防災対策は、どうなっているか。

町長 高台マップを作成している。自主防災組織を組織して、防災訓練をしっかりとやっていく。

被災者状況を一元的に管理するシステム導入は

議員 16年前の阪神淡路大震災で、壊滅的な被害を受けた兵庫県西宮市が独自に開発した被災者支援システムの導入の考えはあるか。

町長 十分、有効活用できるように認識している。

議員 住民基本台帳、家屋台帳、被災状況を

導入すれば、罹災証明の発行から、支援金や寄付金の交付、救済物資の管理、それと仮設住宅の入退時：これを一元的に管理できるシステムがあるが、導入の考えはあるか。

町長 三つのデータを取り込まなければならぬ。まず、住民基本台帳、それから家屋台帳など。そういうものを取り込むためには、やはりそれぞれの費用を想定しているの、そういったものを念頭に置きながら計画を立てて財政局と協議して、今後導入を前提に検討していきたい。



一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。



ふるの 古野 おさむ 議員



農産物ブランド化事業の 進捗状況および今後の計画は



農産物ブランド化計画の基本方針のもと、具体的な取り組みを開始している



「おんがめし」ブログ

農産物ブランド化事業

議員 この事業の認知度を高めるための具体的な取り組みは。

町長 平成23年度より「おんがめし」という名称でホームページを立ち上げ、農業者の取り組みや食に関する情報発信に努めている。

議員 内容については、農家の掲載件数が少ない。食の部分に関しては本来事業の意味とかけ離れている。食進会の地元野菜を使つてのレシピなどは大変いいと思うが、他に町に関する掲載は少ない。地元農産物を使用している飲食店の掲載や旬の野菜の紹介など内容の充実を図るべき。

行政経営課長 本年度見どころガイドブック、町政要覧を作成にあたり

資源の洗い出しを行った。人的支援や魅力あるもの、人物など情報が多くあるので「おんがめし」定期的に更新をしていく。

議員 消費を拡大するために、農産物の開発についてどのような取り組みをしているか。

町長 れんげ・菜の花、米の品質基準づくり、菜種油の試作、しそジュース、ドライトマトの試作に取り組んできた。

議員 農産物ブランド化事業は、昨年の9月議会において承認されている。また、お米の栽培基準ができていないのは遅い。スピード感を持って対応しているらば1年早く結果が出ていると思うが。

議員 確かにこの事業では間に合っていないが、

本町はファームガーデン事業を行ってきた。事業の関連性を持っていけば十分クリアできていた。

議員 本事業は23年度で終了するが、継続して行っていくのか。また、農地・水保全管理事業は。

町長 ブランド化事業は、継続してやっている。農地・水保全管理事業も継続する。

議員 農地・水保全管理事業については、事業に参加できない地域もある。財政厳しい折ではあるが町単独でも考えていたいただきたい。

町長 内容については協議する。基幹産業の農業をしっかり守る取り組み、施策をやっていく。

一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。

第20回全国市町村交流レガッタ大会に出場



いざ出陣



チーム遠賀

今年、9月24日と25日に兵庫県豊岡市で開催されました。

大会会場の円山川城崎漕艇場は、城崎温泉街の情緒あふれる環境の中にあり、また、震災に遭われた東北からもたくさんのチームが参加され、復興に向けての思いがひとつになった素晴らしい大会になりました。

本町からは、私たち「議会チーム」の他に、「なんでんかんでん」「ロックベアーズ」の3チームが出場しました。

約一か月前から練習に取り組んできましたが、台風の影響もあり、十分な練習もできないまま本番を迎えることとなり、健闘むなしく決勝進出とはなりませんでした。

しかし、壮年女子の部に出場した「ロックベアーズ」が見事、準優勝という快挙を成し遂げられました。選手の皆さんが一丸となって頑張ったすばらしいレースでした。



コウノトリ

また、大会が開催された豊岡市は、日本で最後の野生のコウノトリの生息地で、豊岡市立コウノトリ文化館を訪れ、コウノトリの保

護・繁殖・共生事業や、豊岡市が取り組んでいるコウノトリ育む農法(安全なお米と生き物を同時に育む農法)などの説明を受け、とても有意義な視察でした。

発行責任者 議長 奥村 守
広報調査 特別委員会
委員長 萩本 悦子
副委員長 平見 光司
委員 織田 隆徳
 仲野 新三郎
 加藤 陽一郎
 萩尾 修身

遠賀議会だより

今回の定例会は **12月です。**

お気軽に傍聴にお越しください。

詳しい日程は11月下旬に町ホームページでお知らせします。

議会だよりに関するご意見ご感想をお寄せください。

遠賀町議会事務局 TEL 098(298)1285
 e-mail: gikaijimukyoku@town.onga.lg.jp



地震、津波、放射能、台風：今年は日本列島を多くの災害が襲いました。また、35度、38度、連日高気温を告げるテレビ。今年の夏も暑い日が続きました。私の子どもころは、30度になるとビックリしたもので、とても暑いと感じました。それが今や40度に達する地域も出ています。これも地球の温暖化が進んでいる証拠でしょう。このまま温暖化が進めば私たち人間はこの地球に住めなくなると、そう感じさせる時代になったと思います。現実には、今年の震災や台風、高温化、あらためて環境の大切さを認識した年でした。

織田 隆徳